

南アフリカ為替週報

2023年4月20日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き> (4月13日～4月19日)

USD/ZAR: 18.0048～18.4337

ZAR/JPY: 7.21～7.44 (参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドルで18.0～18.4の狭いレンジ内での値動きとなった。対円ではドル・円相場の上昇を受けて7.2円台から7.4円台へと値を切り上げている。

発表された経済統計は、南アフリカ経済が電力不足の影響を受けて経済活動の抑制を余儀なくされる一方で、インフレ圧力が強まっていることを改めて認識させるものとなった。4月13日に発表された2月分の鉱物生産量は前年同月比-5.0%と市場予想の同-3.0%を下回った。さらに、1月分も前年同月比-1.9%から同-2.7%へと下方修正されている。4月19日に発表された2月分の小売売上高は前年同月比-0.5%と市場予想の同-1.0%よりも落ち込みは浅かったものの、3か月連続で前年を下回った。2月に電力不足が深刻化したことは、その前の週に発表された電力生産や製造業生産指数で既に明らかだったものの、この問題の解決に向けた決め手を欠くなかで、引き続き同国経済の足かせとなり続ける公算が大きい。

景気の低迷が続く中、4月19日に発表された3月分の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+7.1%と2月分の同+7.0%から伸びが加速し、小幅減速(同+6.9%)を見込んでいた市場予想を上回った。CPIの伸び加速につながったのは食料品価格だが、食料・エネルギーを除いたコア指数の伸びも前年同月比+5.2%と前月から横ばいとなり、インフレ圧力が広範囲にわたっていることを示している。国内景気低迷の中でのインフレ圧力の強さは、電力不足に伴う生産活動の停滞・供給網の寸断によるコスト増がインフレ率・インフレ期待の高まりにつながっている面もあるだろう。

予想外のCPIの伸び再加速を受けて、金利フォワード市場での5月会合の利上げ織り込みは31bpから42bpへと拡大した。南アフリカ準備銀行(SARB)は市場のインフレ期待を抑えるべく、3月会合で従来の25bpから50bpへと利上げ幅を拡大したが、インフレ圧力が収まらないことから、5月会合でも大幅利上げを迫られる公算が強まっている。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

| 月日 | GMT | 指標 | 期間 | 予想* | 実績 | 前回 |
|------|-------|-------------|----|------|-------|-------|
| 4/13 | 10:30 | 鉱物生産量(前年比%) | 2月 | -3% | -5% | -2.7% |
| 4/19 | 09:00 | CPI(前年比%) | 2月 | 6.9% | 7.1% | 7% |
| 4/19 | 12:00 | 小売売上高(前年比%) | 2月 | -1% | -0.5% | -0.8% |

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し> (4月20日～4月26日)

USD/ZAR: 17.50～18.60

ZAR/JPY: 7.10～7.70

向こう1週間の南ア・ランド相場は底堅い展開を予想。SARBの大幅利上げ継続への期待に加え、VIX指数の低下に表れているようにグローバルな金融環境が新興国通貨にとって追い風となっていることが理由に挙げられる。4月18日に公表された中国の2023年1-3月期の実質GDP成長率が市場予想を上回り、個人消費回復を背景に景気の持ち直しが鮮明となったことも、中国が最大の輸出相手国である南アの国際収支にとってサポート要因となる公算が大きい。もちろん、景気低迷とインフレ加速が続く今の南アフリカの経済環境を考慮すれば、同国の金融市場に流入する資金は逃げ足の速い短期資金が中心になると考えられる。米金利上昇・信用不安再燃などをきっかけに市場環境が悪化に転じる際には、ランドの下落は大きくなりやすい点には注意が必要となるだろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

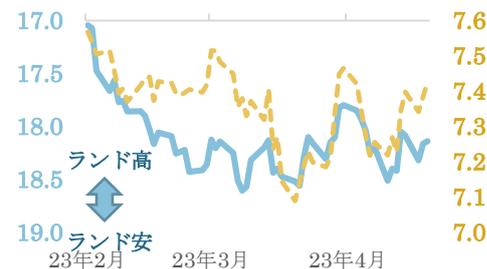
| 月日 | GMT | 指標 | 期間 | 予想* | 実績 | 前回 |
|------|-------|-----------|----|-----|----|-------|
| 4/26 | 10:30 | PPI(前年比%) | 3月 | | | 12.2% |

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)

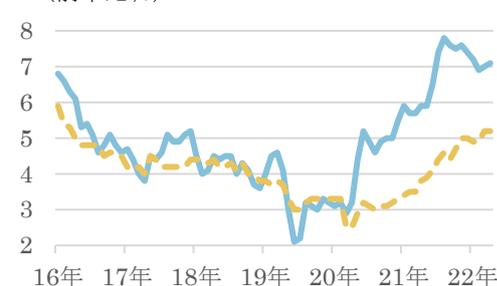


南アフリカ 消費者物価指数(CPI)

実線: ヘッドライン

点線: コアCPI

(前年比%)



南アフリカ 2か月後金利織り込み

(%ポイント)



* 2か月後スタート、期間3か月のフォワードレートから、3か月JIBARを差し引いている。

(資料: 南アフリカ統計局/ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

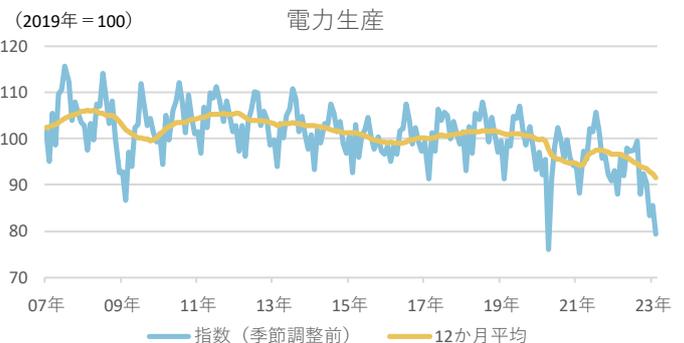
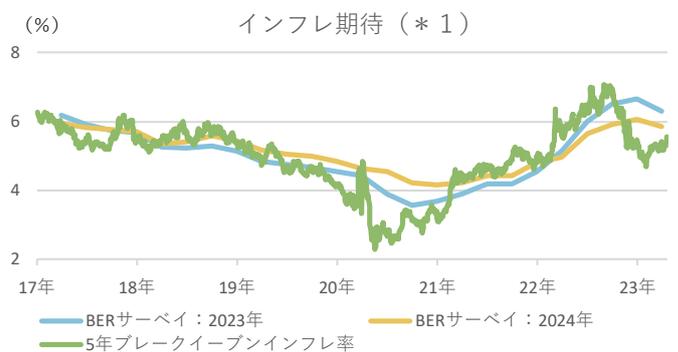
masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

南アフリカ為替週報

2023年4月20日 | みずほ銀行欧州資金部

<主要経済指標の推移>



- * 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。経済アナリストや企業などが調査対象となっている。ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。
- * 2 : 月次データ。ただし、2023年4月は1日から18日までの累計値。

(資料 ; 南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。